

第1607回人事委員会議事録

1 開催日時

平成31年4月18日（木）14：55～15：45

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	竹田佑一	委員
	鈴木尉久	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	門田高弘	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

第1606回の人事委員会議事録について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

職員団体の登録の件

任用課長が、標記登録について内容を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員からの意見)

職員団体（既登録）の下部組織を新たに登録することだが、労使交渉はこれまでと同様に一つの組織として対応するのか。

(事務局)

そうである。

(委員からの意見)

すでに登録されている18の職員団体のうち、学校の教職員関係の職員団体はどれくらいあるのか。

(事務局)

17の職員団体が教職員関係である。

第3号議案

平成31年（令和元年）職種別民間給与実態調査要綱決定の件

第4号議案

平成31年（令和元年）職員給与実態調査要綱決定の件

給与課長が、職種別民間給与実態調査(第3号議案)及び職員給与実態調査(第4号議案)の要綱について内容等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員からの意見)

調査要綱の決定は報告でもいいように思えるが、議決事項なのか。

(事務局)

決裁規程上は議決事項としている。人事院は毎年要綱を決定しており、本県も同じ取扱いとしている。

(委員からの意見)

駐車場等についての調査は、今回新たに追加するということか。

(事務局)

そうである。本県独自の調査として実施する。

報告事項1

平成30年度兵庫県職員採用試験の実施結果について

任用課長が、標記試験の実施結果について報告した。

(委員からの意見)

全体の辞退率はどうなっているか。

(事務局)

行政Aの辞退率は、29年度が14.3%から30年度は17.9%になっている。
全体では、29年度が12.1%から30年度は16.6%となっている。

(委員からの意見)

平成29年度と比べた場合、職種別の状況はどうか。

(事務局)

事務系職種の辞退が多いが、一般事務職に限っていると、平成29年度も平成30年度も辞退者数は15名で同じである。

(委員からの意見)

辞退の理由は。

(事務局)

国家公務員や市町職員などが多い。

報告事項 2

平成31年（令和元年）度兵庫県職員（看護師等）採用候補者選考試験の実施予定（募集人員）について

任用課長が、標記試験の実施について報告した。

（委員からの意見）

はりま姫路総合医療センター（仮称）は2022年開院ということだが、それを見越して早めに採用した方がよいということか。

（事務局）

はりま姫路総合医療センター（仮称）は、製鉄広畑病院と姫路循環器病センターとの病院統合により総合病院として開院するが、外傷性の救急やがん対応など姫路循環器病センターにない機能を持つ予定であることから、早期に看護師を確保し、派遣研修を実施するとのことである。

（委員からの意見）

看護師については、応募の段階で配属先病院の希望は聞いてもらえるのか。兵庫県は広いので、配属がどうなるかということが、応募に際しての重要な要素になる。

（事務局）

募集案内の25ページにもあるが、できる限り本人の希望を尊重するが、必ずしもそのとおりになるとは限らない。

なお、以前は採用を病院ごとに行っていた時代もあったが、今は一括採用となっているため、ジョブローテーションの中で病院間を異動することもある。

報告事項 3

民間給与実態調査等に関わる要請書等について

給与課長が、労働組合から全国人事委員会連合会長あての民間給与実態調査等に関わる要請書等について、内容等を報告した。

（委員からの意見）

要請項目には、組合との十分な協議等も含まれている。去年は公民比較方法の見直しなどもあったが、報告・勧告にあたっては、職員団体から意見を聞いているのか。

（事務局）

報告・勧告にあたっては、例年、職員団体の意見を聞く場を設け、本委員会の考え方も丁寧に説明している。

閉 会